

フタアナ メンニヤと二穴洞穴

うもない、栄養に乏しいと思われる珪藻土の洞穴の奥に緑があるとは思えない不思議な感じを受けた。「日穴の光」が育んでいるのであろうか…。



男 穴

しばらく不思議な姿を眺め、「男穴」を後にした。

「女穴」は「男穴」の東にあいた小さな洞穴である。その姿は、ほぼ水中にあり、かろうじて一部が水上にのぞいている。

この女穴は、大量の水に満たされており、その深さはわからないとされている。しかし、遠く輪島まで通じていて、漆器が浮かび出たと言われている。かつて海上交通の盛んであった頃は、神秘的な姿を目にするのも多かったであろう。いろいろな話が伝えられている。

七尾湾の自然は、その時代によってさまざまな役割を担ってきた。今、メンニヤや二つの洞穴は、ひとつの役を終え、静かに時を過ごしている。

「水 穴」

「女穴」には神の力がやどっていると伝えられ、「水穴」とも呼ばれている。

昔、日照りが続き、飲み水がなくなつた。困つた村人が水穴の観音様をお願いするとまもなく雨が降つて救われた。ところがまた翌年も日照りが続き、田が乾いて

地割れし、稲も枯れかけた。そこで、ある村人が船に乗つて水穴へ行き、自分の田んぼに水を入れようと水穴の水を船に積み込んだ。しかし、帰ろうとした船がまったく動かなかった。これは、観音様が怒っていると思い水を元に戻すと船が動き出した。」との話が伝えられている。



男穴・女穴

周辺マップ



今月の 主な内容

CONTENTS

指定管理者制度	4
海や川、守る七尾の下水道	6
衆議院議員総選挙	8